

リスキング【Re-Skilling】 人事ご担当者さまとのワークショップ



茨城県では、県内産業の生産性向上や賃金水準の向上を目指し、企業人のリスキングの推進に取り組んでおります。

変化の激しいこの時代に、誰のために、何のために学ぶのか、グロービス経営大学院で社会人向けに「クリティカルシンキング」「地方創生ビジネス」等の講師を務める川崎篤之氏を講師にお招きし、講義だけでなくグループワークも交えてリスキングの理解を深めました。

日時 令和6年9月9日(月) 13:00～16:00
場所 イーアスつくば イーアスホール
参加者 県内企業、事業所の人事担当者及び経営者など 32名
講師 川崎 篤之氏
(グロービス経営大学院 茨城・水戸特設キャンパスリーダー)



内容

講義	リスクリングでできること
講義	リスクリングの設計とは
グループワーク①	PEST分析
講義	リスクリングを導入する
グループワーク②	人事担当として、「経営層」「従業員」への働きかけ

講義要旨

- VUCAの時代、誰も経験したことがない時代が到来している。その時に何を考えるのか。社会が変わり、業界が変わり、自社が変わる時代。その会社を作っている個人をリスクリングによってアップデートさせていかなければならない。
- リスクリングは企業が主体となり、経営戦略と一体的に「業務」として従業員にリスクリング「させる」べきもの。誰に、何を学ばせるのか、会社や人事担当者がしっかり戦略をもって考えなければならない。
- 誰も正解が分からないこの時代、スキル習得のベースとなる「考える力」を学ぶ必要がある。



グループワーク

グループワークでは、「時代の変化を踏まえて自社の課題や組織はどう変わるべきなのか」「自社の強みや弱みは何なのか」ということを、PEST分析*を活用して、意見交換と発表を行いました。

*PEST分析 …自社を取り巻く外部環境（Politics[政治]、Economy[経済]、Society[社会]、Technology[技術]）を把握・予測するフレームワーク

また、人事担当者の立場でリスクリングを推進するために、「経営層のメリット・デメリット」「従業員のメリット・デメリット」を意識しながら、どのような戦略をもって働きかけるのが効果的なのか、意見交換と発表を行いました。



参加した皆さんの感想・今後取り組んでいく施策や目標

(感想)

- 自分自身が学びなおすためのリスキリングかと思って来たが、会社が従業員に「リスキリングさせる」ということが新たな発見だった。
- いつか会社や業界が埋没してしまうかもしれないので、生き残り戦略としてリスキリングに取り組んでいきたいと思った。
- リスキリングを本格的に実施していくために、何を整理すべきか理解できた。また、他社の考えを聞くことができ有意義な時間になった。
- リスキリングを理解するだけではなく、今後に向けて前向きになれた。人事担当者として、経営層へどんなふう働きかけをすると効果的か、考えてやっていきたい。
- 保守的であったが、改革が必要であることを理解した。多角化を検討していきたい。

(目標など)

- AIなどの新しいテクノロジーの知識を装着し、攻めのリスキリングを行う。
- IT分野を強化し、将来のIoT化に備えて対応できる人材を育成・確保する。